

新陽子線棟[仮称]に整備する諸室リスト（案）（本施設で想定している必要諸室と基本的な考え方を示す。）

エリア	名称	想定員数	室数	面積		基本的な考え方	医療ガス	衛生・空調関係備考欄
				m ² /室	合計			
診療エリア	外来処置室（点滴・採血等）		1	10	10	・医療ガス配管（O、V、A）を設けること。	○	
	麻酔導入室	患者等：1名	1	10～15	10～15	・医療ガス配管（O、V、A）を設けること。 ・麻酔器、寝台1台が収容可能なこと。	○	
	処置回復室（リカバリールーム）	患者等：1名	2	10～15	20～30	・医療ガス配管（O、V、A）を設けること。 ・各室に麻酔器、寝台1台が収容可能なこと。 ・室数は2室が望ましいが、患者サービス・業務効率上の支障がない場合に限り、2名の患者が利用できる1室での提案も可能とする。	○	
	プレイルーム（小児）	患者等：2～3名	1	10	10	・待合の一角に設置されていること。（オープンスペース可）		
	患者更衣室	患者等：5名	5	適宜	適宜	・照射室の近くに配置すること。 ・5室同時に使用可能な仕様であること。 ・5室の内1室は車椅子を使用する患者に対応できること。 ・フィッティングルーム程度の面積で良い。		
	面談室（共用）	患者等：1名	2	8	16	・看護師などが患者または付添者に対して施術直前等に各種説明等を行うために共用で使用する部屋。 ・照射室の出入口付近に設置すること。また、患者等のプライバシーを考慮した仕様であること。		
	CT室	技師等：1名 患者等：1名	1	38	38	・医療ガス配管（O、V、A）を設けること。 ・新陽子線棟[仮称]に整備又は、患者サービスおよび業務効率性が確保されることを前提に、既存陽子線棟を改修して整備する提案を可能とする。（MRI室の改修を想定）	○	
	CT更衣室	患者等：1名	1	6	6	・新陽子線棟[仮称]に整備又は、患者サービスおよび業務効率性が確保されることを前提に、既存陽子線棟を改修して整備する提案を可能とする。 ・CT室を利用する患者用の更衣室。		
	画像処理室		1	適宜	適宜	・新陽子線棟[仮称]に整備又は、患者サービスおよび業務効率性が確保されることを前提に、既存陽子線棟を改修して整備する提案を可能とする。 ・面積は（画像処理室・診断操作室）合計で50m ² 程度で良い。		
	画像診断操作室		1	適宜	適宜	同上		
加速器エリア 放射線制御エリア、 照射エリア	加速器室		—	—	—	（提案に委ねる）		
	照射室（前室共）		2	—	—	（提案に委ねる）		
	前処置室（処置・個別待合室）		1	10	10	・医療ガス配管（O、V、A）を設けること。 ・治療室に付帯する機能、カテーテルの出し入れを実施する。寝台とトレイがあれば問題ないが、服を脱ぐため個室であること。	○	
	照射制御室		—	—	—	（提案に委ねる）		
	加速器制御室		—	—	—	（提案に委ねる）		
	治療計画室		1	60	60	・事務机（PCモニター設置、袖机不要）が20台、プリンター（複合機）が設置できるスペースを確保すること。		
	管理区域内トイレ（男女） 多機能トイレ		1	—	—	・車いす患者（成人・小児）の利用も想定する。		
—	放射線管理室	職員等：1名	1	10	10	・1人分の机が設置できる面積であること。（機器モニタールーム） ・設置場所は診療エリア以外（加速器エリアもしくは設備エリア）で提案に委ねる。		
設備エリア	（提案に委ねる）							
各階共通	トイレ（男女） 多機能トイレ	—	—	—	—	（提案に委ねる）		
	倉庫	—	—	—	—	（提案に委ねる）		
	廊下	—	—	—	—	（提案に委ねる）		
	階段	—	—	—	—	（提案に委ねる）職員利用階段は勾配に配慮のこと。		
	エレベーター	—	—	—	—	・ストレッチャー移送が可能であること。		

注) 1 面積例は要求水準を満たす範囲において変更可能とする、空白部分は提案による。